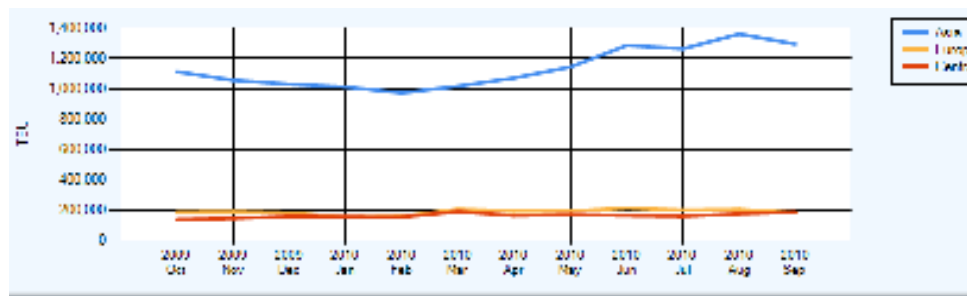


米国通関統計 9月輸入実績速報

アジア発の9月米国輸入(コンテナ TEU)は前月比 4.4%減少



Zepol (ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、10月11日、米国税関 AMS・B/L データ(*Note)を基に、米国輸入9月実績をまとめました。それによると、アジア主要10カ国発の9月度 TEU 実績は前月より:4.4%減少し、世界合計も 4.5%減でした。(取扱 B/L 件数・Shipment ベースでは 7.8%の減少でした) ただし昨年同期比では、アジア10カ国 TEU は+20.9%でした。

9月の減少傾向は、多分にコンテナスペース不足事情を背景に年末需要に対応するための秋期出荷分を夏場に前倒したことによるものとみられます。

アジア主要10カ国(アジア対米輸出の約98%を占める、中国、韓国、香港、台湾、日本、シンガポール、タイ、インド、マレーシア、ベトナム)からの積地国(Port of Departure)ベースでの TEU 実績は、タイ(+1.2%)とベトナム(+8.1%)以外は、中国も-2.5%、国外の荷受地(Place Receipt)からのトランシップ(T/S)扱量が多い韓国、香港は中国分の減少で夫々-5.1%、-12.0%、他のアジア諸国からの T/S が多い台湾、シンガポールは夫々-9.4%、-5.4%でしたが T/S の少ない日本発は-1.8%となりました。インド、マレーシアも夫々-18.4%と-9.1%でした。(別表1参照)

* Note ; Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS(Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。毎日数万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報に、各自パソコンから簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、データベースからは B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 情報も検索可能になっています。毎月、約40日遅れで発表される商務省統計に先立ち、前月分の米国輸入トレンドを翌月上旬には把握できる「一番早い貿易統計」として2003年以来、各業界で幅広く活用されています。ただし、公式データに基づいた統計ですが、B/L 記載内容をそのままデータベース化しているために、もしも AMS 記録内容に誤りがあったりダブルカウントなどがあれば、その通り含まれる可能性があります。(www.zepol.com 参照)

別表1 アジア主要10カ国発 米国向け TEU 9月輸入通関実績

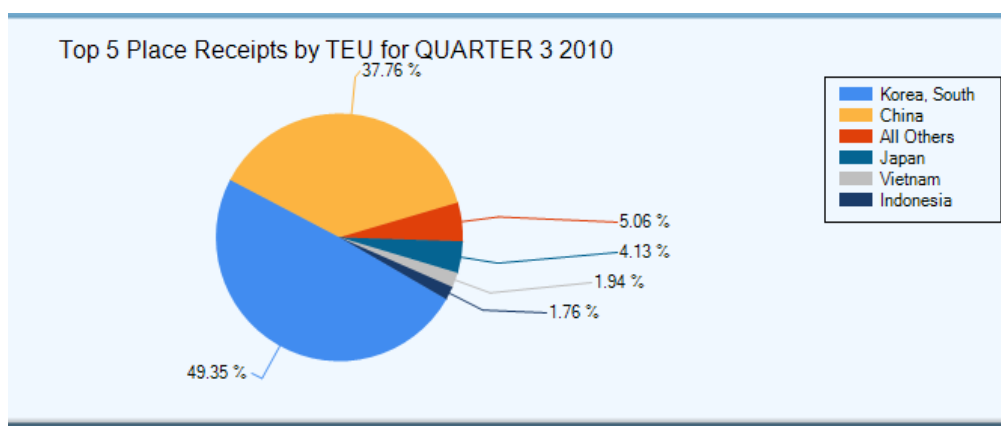
USA Import from Asia Top 10 – September 2010			
Top 10 Countries Port_Departure	September 2010 (TEU)	Change Over August (%)	Change Over Sep.09 (%)
1. China	771,460	-2.5%	+25.9%
2. Korea	122,427	-5.1%	+19.2%
3. Hong Kong	117,936	-12.0%	+3.4%
4. Taiwan	79,807	-9.4%	+15.0%
5. Japan	59,888	-1.8%	+2.7%
6. Singapore	54,887	-5.4%	+28.6%
7. Malaysia	16,962	-8.7%	+23.0%
8. Thailand	15,709	+1.2%	+43.2%
9. Vietnam	11,538	+8.1%	+41.7%
10. India	11,108	-18.4%	+1.7%
Asia Top 10 Total	1,281,812	-4.4%	+20.9%

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

アジア10カ国の中で、特にトランスシップ(T/S)港として日本との関係が深い韓国・釜山港からの荷動きは以下の通りでした。

- 釜山港発を Place Receipt (荷受地) 主要国別シェアをみますと7-9月期では自国分の約半分(49.35%)に次ぎ、中国は37.76%と大きく、日本は4.13%、ベトナム1.94%、インドネシア1.75%という構成でした。(別表2参照)

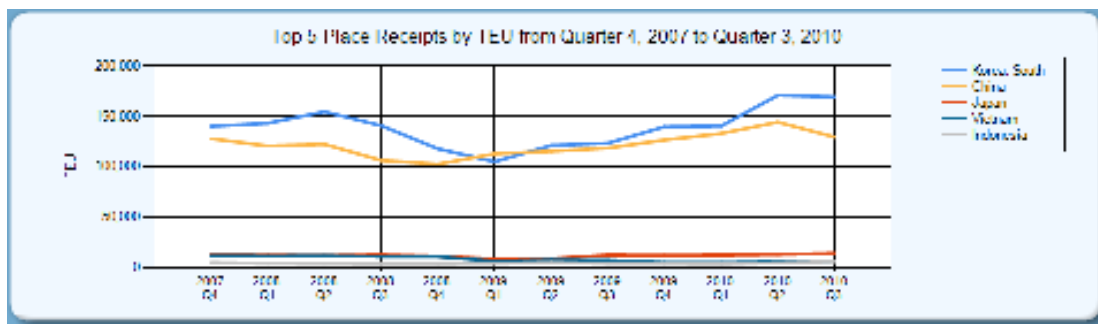
別表2 釜山港発米国向け TEU 国別 T/S シェア 2010年7-9月期



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

2. 同じ主要国について四半期ごと推移をみますと、直近の7-9月期(2010-Q3)においては、T/Sシェアの高い中国分が前期比10%減、自国分も前期比1%減という中で、日本、ベトナム、インドネシアからは夫々+8.5%, +16%, +28% と好調でした。(別表3参照)

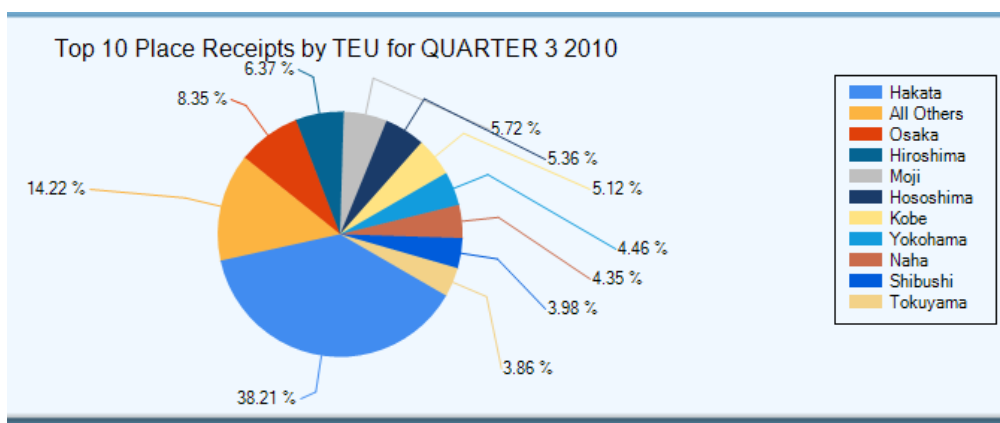
別表3 釜山港発米国向け TEU 国別 T/S 四半期毎トレンド (Q4 '07-Q3' 10)



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

3. 釜山港全体のシェア 4.13% (別表2) の日本分について、同じ期間で日本の主要港別のシェアを検証しますと、博多港 38.21%, 大阪港 6.25%, 広島港 6.37%, 門司港 5.72%, 細島港 5.36%, 神戸港 5.12%, 横浜港 4.46%, 那覇 4.35%, 志布志港 3.98%, 徳山港 3.86% という結果でした。(別表4参照)

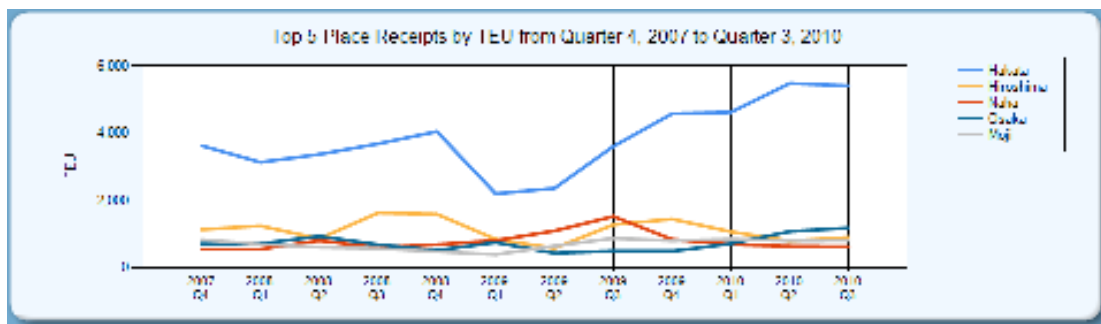
別表4 釜山港発米国向け TEU 日本港別 T/S シェア 2010年7-9月期



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

4. 釜山港経由の、日本上位5港の4半期毎トレンドをみますと、博多港の躍進が確認できますが、直近の7-9月期の対前期比は、博多港-1.3%、広島港+14%、那覇港 -2.4%、大阪港 +10%、門司港+1.3% と推移しています。この5港を含む日本発全体では、別表3の国別比較のごとく、+8.5% でした。(別表3,5 参照)

別表5 釜山港発米国向け TEU 日本主要港別 T/S 四半期トレンド(Q4' 07-Q3' 10)



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

以上

本件に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp

米国：Zepol Corp kevin.palmastein@zepol.com